慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	Dr. Hans Schlie; Die britische Handelspolitik seit Ottawa und ihre weltwirtschaftlichen Auswirkungen. 1937.
Sub Title	
Author	岩田, 仞
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1938
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.32, No.1 (1938. 1) ,p.149(149)- 152(152)
JaLC DOI	10.14991/001.19380101-0149
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19380101-0149

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

Dr. Hans Schlie: Die britische Handelspolitik seit Ottawa und ihre weltwirtschaftlichen Auswirkungen. 1937.

岩田　仞

一九三二年は英國貿易政策史上特筆すべき年であつた。即ち從來の傳統的自由貿易政策を全く拋擲し去り、更に英帝國ブロック結成に積極的に乘出して、オッタワ協定の成立をみた年である。爾來既に五年の歳月を閲した。此の英國貿易政策の轉換は如何なる成果を齎したであらうか。現下の紛糾せる國際經濟關係を理解する上に重要な問題である。本書はその題名の示す如く、オッタワ協定以後に於ける英國貿易政策の變遷とそれが世界經濟に及ぼした影響を檢討したものである。

本書は二部よりなり、前半は最近に於ける英國貿易政策の變遷を取扱ひ、後半をその齎した影響の分析に當てゝ居る。以下その内容の概略を紹介しやう。

〔第一部〕英國貿易の絢爛たる時代は十九世紀を以て終末を告げた。逸早く産業革命の波に乘つた英國は、久しく世界の工場として自由貿易を謳歌して居たのであるが、十九世紀末葉頃より獨逸並びに米國の産業的勃興が漸次英國を脅かすに至つた。爲めに固執して居た自由貿易政策の礎が搖ぎ、植民地的領域は新なる意識を以て現はれ、既にチエンバレンの特惠關税論の擡頭をみたのである。世紀改まるや機漸く熟し、一九一五年マッケンナー關税法

が制定され、一九一九年英帝國特惠關稅制が採用された。かくして保護貿易政策への轉換並びに英帝國ブロック結成への第一歩が踏み出されたのである。

併し乍ら世界經濟の王座から轉落した英國には、當時更に新たなる苦腦の種が植え付けられてしまつて居た。即ち世界市場から一歩退却して殖民地市場を確保せんとした努力は、大戰以後に於ける世界經濟の變化の爲めに一層困難な狀態に置かれるに至つたのである。著者は次の三つの事情を擧げて居る。第一に、殖民地的領域の工業化過程の進展が英國と自治領との協調を不可能にせしめた事。第二に、大戰後に於ける英國の國際金融市場としての地位の變化が、殖民地に對する支配力を薄弱ならしめた事。第三に、英國自身の再農業化の進行が自治領との關係を弛緩せしめた事。次いで、英國基礎產業の分析を行ひ、英國貿易政策の轉換が何故に一層押進められなければならなかつたかの事情を說明する。

斯くして自由貿易の歷史を誇つた英國にとつての劃期的な轉換が行はれたのである。一九三二年三月には、純然たる恒久的保護關稅を設定し、同年八月オッタワ協定が締結された。

次に保護貿易政策の强化に伴つて生ずる種々なる具體的政策手段が取扱はれて居る。即ち關稅、最惠國約款、割當制度等に關する技術的乃至法律的解說である。又英帝國ブロック的統制への前進が如何なる形で行はれたかを明かにする爲めに、オッタワ協定の內容を說明し、それと關聯して英帝國ブロック結成の限界とブロック外諸國への依存性を吟味する。

〔第二部〕　以上述べた如き準備の下に、英國貿易政策の轉換が如何なる影響を及ぼしたかの問題に移る。

先づ英帝國內に對する影響であるが、之は云ふ迄もなくオッタワ協定のそれである。オッタワ協定に依る英帝國ブロックの强化は、當然ブロッタ外市場の犧牲を要求する。併し乍ら最近に於ける各自治領の政治的獨立傾向の顯著化と、前述せる英本國と自治領間の經濟的紐帶の弛緩は、自治領に必しも有利な影響を與へないであらう。著者は印度、加奈陀、濠洲、南アフリカ聯邦、ニュー・ジーランド、愛蘭自由國等に亘つて詳細な檢討を行ふ。

次に英國保護貿易政策とブロック强化が、英帝國外諸國に對して與へた影響である。之等英國の排他的貿易政策は、各國をして報復的態度に出でしめ、その貿易關係を減退、惡化せしめずにはおかない。著者はその特に顯著なるものとして、米國、獨乙、佛蘭西、日本、ソビエットロシヤを採上げて居る。

オッタワ協定以後の英國貿易政策は、世界貿易に劃期的變動を與へた。即ち英帝國內の相互貿易は增進したが、英帝國外諸國との貿易を減退せしめたのである。併し乍ら英國は英帝國ブロックと云ふ埒內で果して更生し得るであらうか。英國並びに自治領の世界經濟的關係への依存性は少くなく、世界經濟の羈絆を脫する事は容易には行はれるものでない。又英國と自治領間の經濟的離反は、英帝國內貿易の增進をすら妨げる傾向にある。

本書は大體以上の如き線に沿つて、英國貿易政策とその影響を論じたものである。而してその內容は何れも旣に幾度か論ぜられたものであり、耳新しい議論は見出されない。又本書は單に貿易關係にのみその分析の範圍を限定して居る爲めに、最近に於ける英國貿易政策の變遷の基礎を說明するに充分でない。併し乍ら具體的資料特に統計的資料が豐富であり、その點で大いに利用の價値あるものとして、敢て此處に紹介した次第である。

本年八月二十五日でオッタワ協定の期限は到來した。その更改か廢棄かは世界の關心の的である。にも拘らず本年の英帝國會議では此の問題に何等觸れる所がなかつた。勿論、英帝國ブロック內の矛盾は、英本國並びに自治領の間に不滿の聲を聞き、その改裝の要求が頻りに叫ばれて居る。ブロック的關係と世界經濟的關係との相剋が、英

Dr. Hans Schlie: Die britische Handelspolitik seit Ottawa und ihre weltwirtschaftlichen Auswirkungen. 1937.

帝國ブロックの解體的傾向を強める事は必至であらう。英國自身米國との通商協定に乘り出すに至つた。併し乍ら最近に於ける國際情勢の逼迫は、英帝國ブロックを軍事的、政治的視角から改めて眺め直す事を要求して居る。今や英國は「持てる國」として經濟的のみならず軍事的政治的見地から、如何樣にしても自己のブロック圈の確保を維持しなければならないのである。かくして、總ゆる經濟現象が著しく軍事的色彩を帶びるにつれて英帝國ブロックの意義も變化し、英國貿易政策は此處に新なる段階に入つたものと云ひ得やう。

（一九三七・一二・一七）

前號（第三十一卷第十二號）目次

◉民族・民族性・民族主義　加田哲二
——民族主義研究序論——

◉和蘭商業資本のバルト海進出に就いて　高村象平

◉モレリイ『自然法典』と其思想的背景　平井新

◉グルストナー著『企業の經濟計算』解說　小高泰雄

◉Raymond Burrows: The Problems and practice of economic planning. London 1937.　氣賀健三

◉Dr. G. Kurt Johannsen and H. H. Kraft; Germany's Colonial Problem. 1937. (Das Kolonialproblem Deutschlands. 1936.)　山本登

◉三田學會雜誌第三十一卷後半總目次

●一冊定價金五拾錢
●半ケ年分金貳圓九拾錢
●一ケ年分金五圓四拾錢
郵稅金壹錢五厘
郵稅共

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
●營業に關する用件は發賣元宛
●原稿締切期日は發行の前月十日限

昭和十三年十二月廿一日印刷納本
昭和十三年一月一日發行
毎月一回一日發行

三田學會雜誌
第三十二卷第一號
編輯兼發行者　東京市芝區三田二丁目二番地慶應義塾內　江田範保
印刷者　東京市赤坂區新町五丁目四十二番地　金子鐵五郎
印刷所　東京市赤坂區新町五丁目四十二番地　金子活版所
發賣元　東京市芝區三田二丁目一番地　丸善株式會社三田出張所　電話三田(45)一一九二六番　一一九二七番　振替口座東京一一八五二番
●尚ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す
發行所　東京芝三田慶應義塾內　理財學會　振替口座　慶應義塾　芝區三田二ノ二　東京一八二〇四番

禁轉載